

# 籠

# 鳥

# の

カ  
ゴ  
ド  
リ  
ノ

*the  
cage  
bird*

籠鳥の遠き慮りを溶かして  
BLUE ARCHIVE FAN FICTION STORY  
CHARACTOR: RYUUGE KISAKI

R18  
ADULT ONLY

# 遠

*き*

# 慮

*り*

# 溶

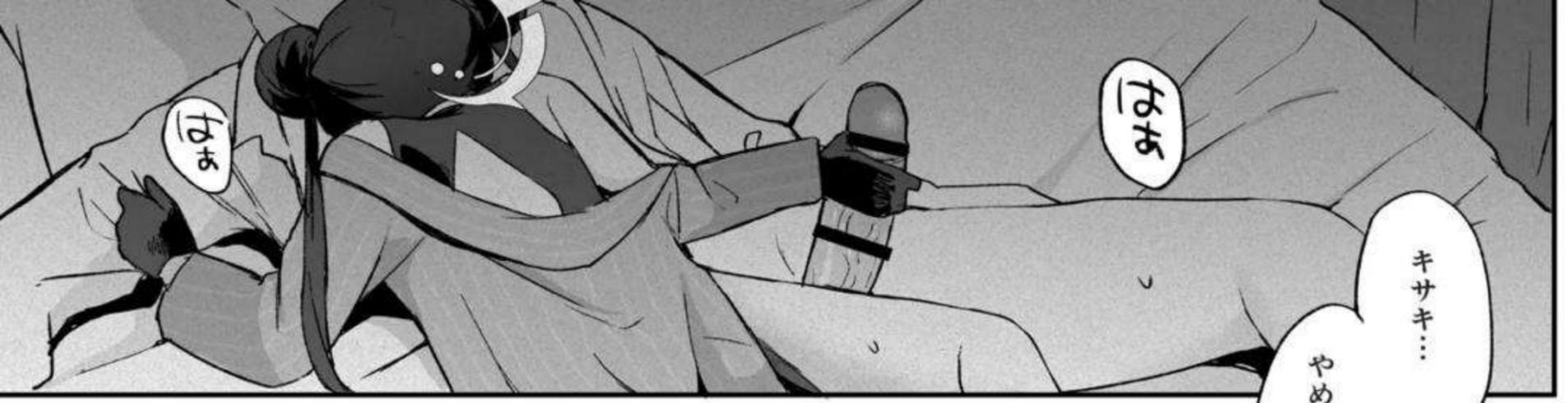
*か*

# して

*morning*

ト  
オ  
キ  
オ  
モ  
パ  
カ  
リ  
ヲ  
ト  
カ  
シ  
テ





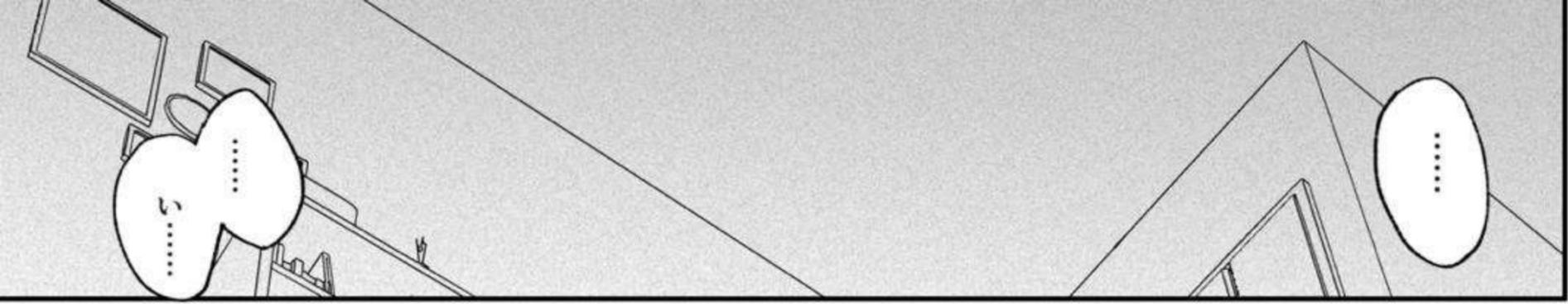












いきたいです……

イかせて……  
ください

話が早いのは、  
其方の美徳じゃの♡



さてせっかくの  
其方からの  
熱い要望じゃ

望み通り、  
空になるまで  
無駄打ちさせて  
やろう……♡



切なそうな先生の顔  
やはり可愛いっのう

うあ♡

ふふ

あ

う……





だ……無理

こんなの……  
射精るっ



んぷっ ♡

♡♡♡♡

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡





いったから…キツイ…  
手え…止めて

そ……お  
だけどっ……

少しはスッキリしたかの？

あ……

はあ……

ん……？

フン

は

は



まだコレは  
そそり立っておるぞ

でも……  
苦しいからっ……  
もうやめて……

ほお……

はむ♡

3+29

ど

ど





美味しいのう



すきなひと  
先生のモノは  
全て美味じゃ



≡5V<

≡5V<

≡5V<

≡5V<

≡5V<

≡5V<

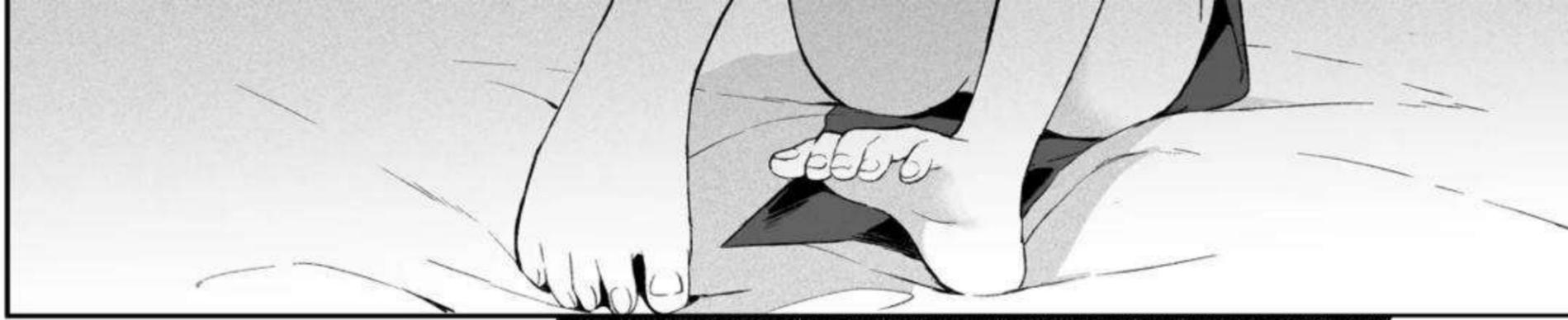
≡5V<

≡5V<

≡5V<







だから生徒は食べぬ、と？

そも生徒に絶頂を強請<sup>ねだ</sup>った  
時点で、その矜持は  
保たれておるのかえ…？

私が……  
キサキに酷いことを  
したのは事実だ

けど……二度も  
一線は越えられない



私の身勝手に  
キサキの人生を狂わせる  
ワケにはいかないよ



こんな無理矢理されている  
状況で『私の身勝手』……か

清廉<sup>けんかい</sup>も、極まれば  
ただの意固地よの……



ふむ……

妾は、両想いとして  
先生と愛を重ねたかった

気分でないというならば、  
また出直すとしよう

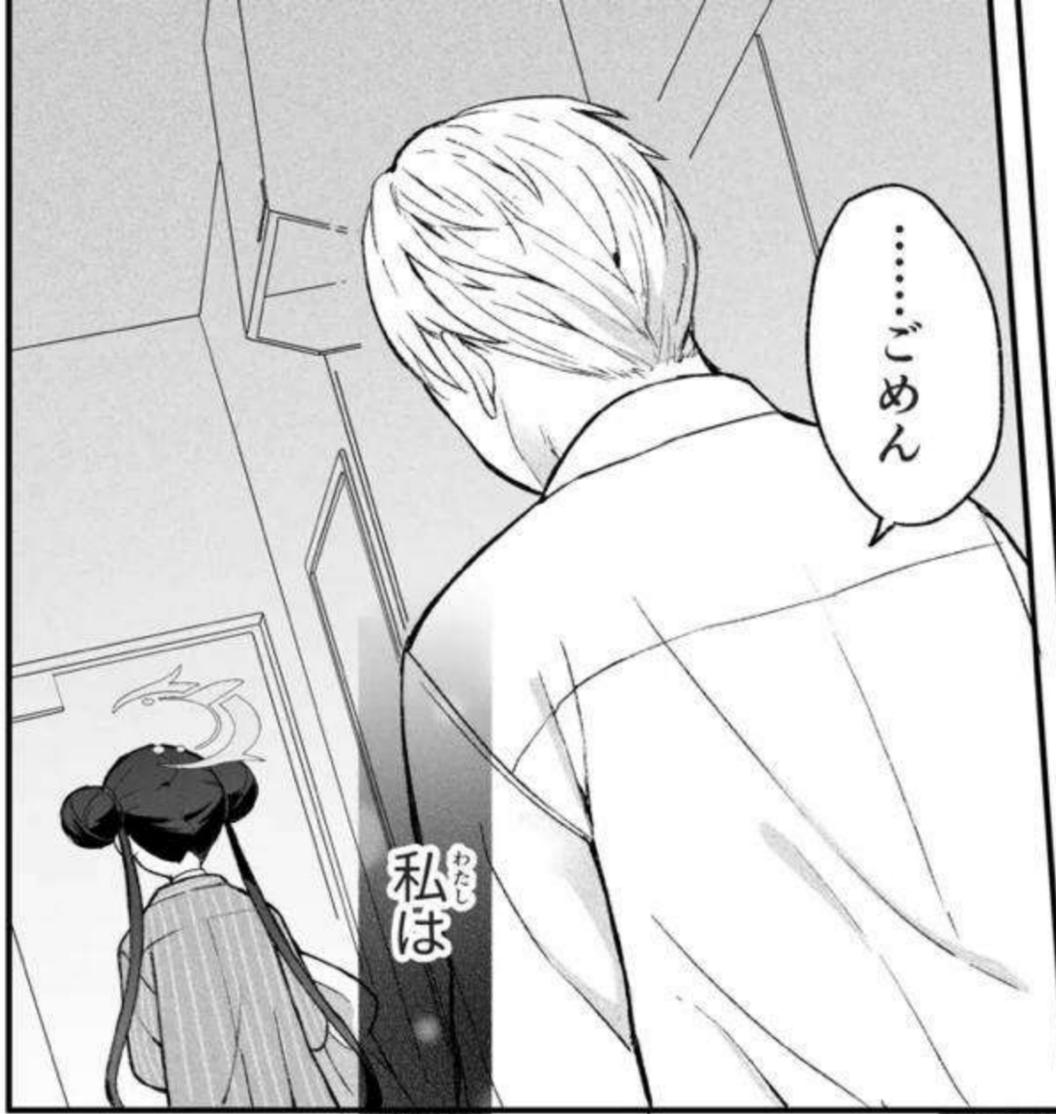
一度は  
交わったと  
いうのに

何故……

……できれば、  
こういう関係は  
もう――

先生

あまり妾を……  
拒まないでくれ



籠鳥の

遠き慮りを溶かして



しばらく前

ふ〜

助かったよ、キサキ！

ふふ、この程度でよければいつでも助力しようぞ

それにしても……

今日もこの制服での同伴をご所望とはの

だって……

似合ってるからなっ！

左様か……

そういう趣味でもあるのかの……？



この宿であれば、  
山海経も顔が効くでな

シャールの当番  
そして買い出しと聞いた  
時点で備えは済んでおる

もくもく

だんごの  
予約済み

それは  
いいけど……

ここ  
ラブホテル  
じゃないか……!!

仕方なかろう

シャールレの先生と玄龍門の  
門首が同じ宿に入ったと  
知ればたまったものではない

ここは秘匿性も高く、  
玄龍門の一声で  
万事に融通が効く

バシなキザ  
しいがのミ

もんしゅさまー!!

道理で入り口が  
入り組んでるなと……

そういうことじゃ  
観念して、此度はここで

妾と『休憩』するがよい

ちんら





無論……  
ここで何が起ったとて

は  
妾が其方を責める  
ことは永劫にないぞ？

……



心配しなくても  
キサキが元気になるまで  
ちゃんと一緒にいるよ

体調を崩した生徒の  
面倒を見て無事に帰すのは

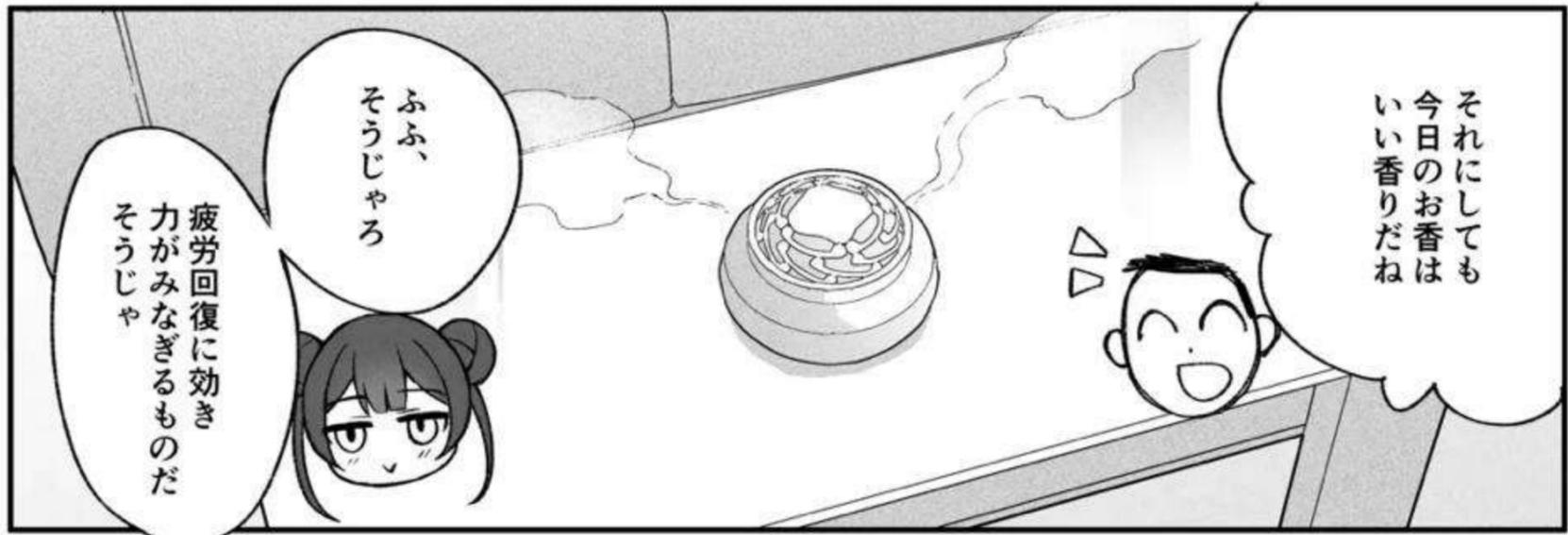
大人として当然だからね



無事に帰す……か

ずるい大人じゃな  
先生は

妾の真意など  
とうに見透かして  
おるじゃろうに







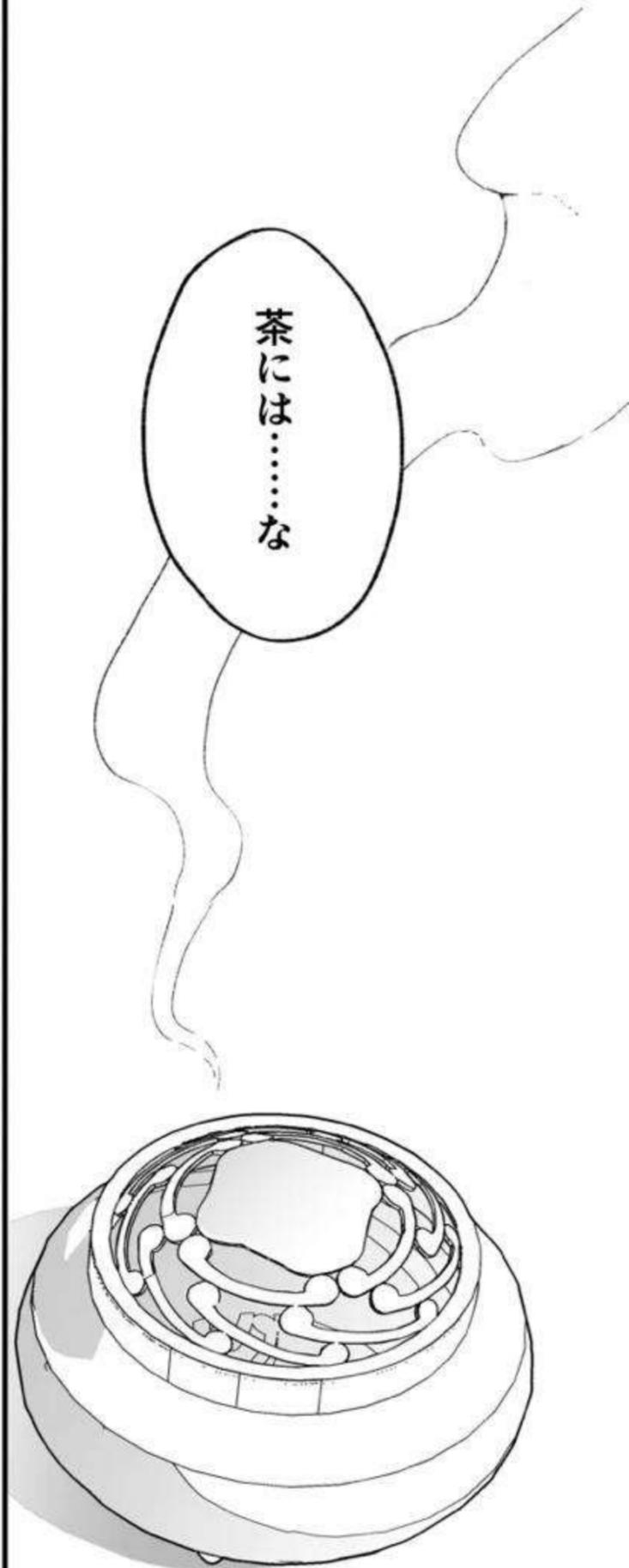




私は



シャーレの先生を  
している



茶には……な



こんな私に  
全幅の信頼を  
寄せてくれている  
生徒たち

その信頼に  
報いることこそが  
私の責務

そのはずなのに——



何をやっているんだ  
……私は？











はあ

はあ

もっと...  
奥まで啜えてくれ

ああ...  
妻くらいよ...



先生きもちー?  
先生きもちー?

クソクソクソクソ



クソクソ

えっ.....?



クソクソ

クソクソ

クソクソ



ごめんね  
キキッ  
苦しいよね

もう……  
射精からっ



全部  
飲み込め!!





キキの喉奥...  
きもちいい...

はあ...  
はあ...

く...

これは...現実?  
ふわふわして...

分から...ない

くくく  
ぐぐぐ



だっ  
大丈夫...?

あ...  
キサ...



あっ...

くく

キキ



はま

あっ……

はま



その瞳が



その唇が



俺を<sup>から</sup>搦めとってらん



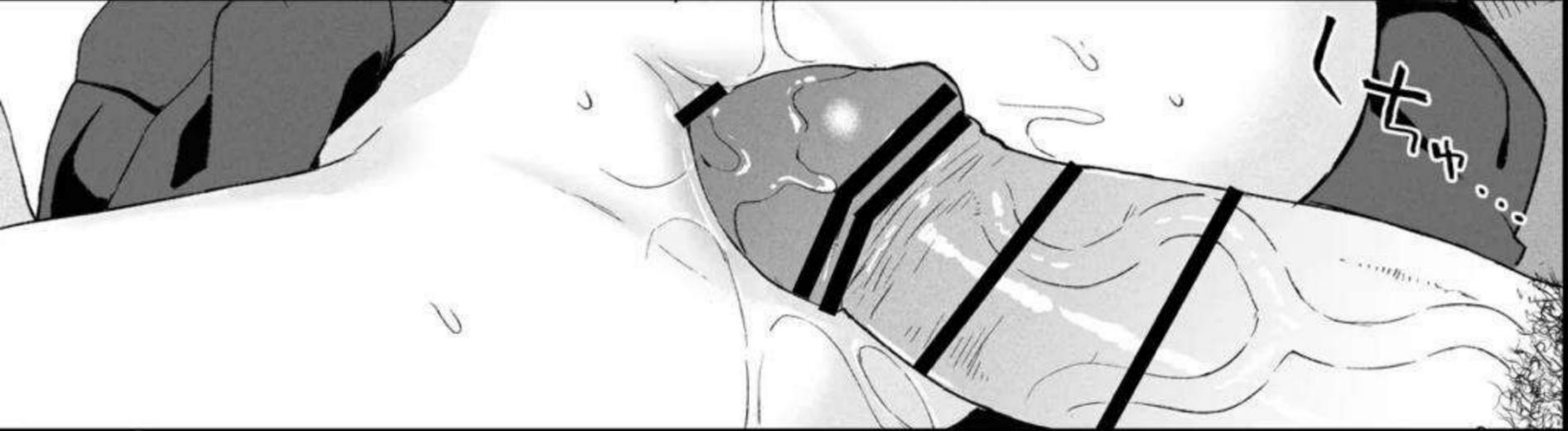


もう終わりですかあ？

キキって、みんなから  
ひ弱だねって  
言われるんですけどお

こんなので音を  
上げちゃうなんてえ

もしかして  
先生えのほうが  
よわよわなんですか？



しゃ...



上等だ  
エロガキツ.....!!

.....  
ッ

おかしい——  
こんなの現実なはずがない

私が……  
どれだけッ!!

我慢していたと  
思ってるッッ……!!

ずっと  
ずっと好き  
だったんだ!!

ちかっ

キサキのことが……!!

あ

は

は  
は





やめろ……  
キサキが

大事な生徒が  
苦しんでるじゃないか

お母さん

お母さん

お母さん

お母さん

お

お母さん

お母さん



まるで私みたいに  
力がなくて

お母さん

お母さん

お母さん

私みたいに多くの  
責任を負っていて……

お母さん



その幼い身体に  
見合わない  
大人びた表情を見た時から

信頼も  
寄せられていて



キサキッ

なか  
腔内に

だ  
射精すぞ  
いいなっ...!?







きつと  
羨ましかったんだ



うむ……♡ 全て妻の子袋に注ぎ込むがよい……♡



はっ?



びしょ  
びしょ  
びしょ





これが夢精と  
いうものか……

はあ

触れとらんのに  
すごい量じゃ

はあ

それに、  
ひどく濃い匂い……♡

キサキ……

初めて嗅ぐ匂い  
じゃというのに……



愛おしくて叶わぬ……♡

キサキ、これは  
流石にイタズラの  
限度を越えて……

先生のもの  
だからじゃろうか



—  
?

何してるの……  
キサキ

ふふ

先生のご所望  
じゃろ?

ふ

あ

あ

あ

どうじゃ先生？  
夢とどっちが  
気持ち良さそうかの？

は

は

何でこんな匂いが

插れたい——

ブチ  
撒けたい

ふふ  
そうじゃろうな

こんなの……  
治まるわけ  
ない……

だ、だめだよ  
キサキ……

はあ

はあ

あ

あ



4徹と  
言っておったな

つまり4日は  
ご無沙汰  
じゃったわけじゃ

そんな状態でコレを  
一晩中も吸い続ければ

ひとたまりも  
ないじゃろうな

お香の残り香……

キサキの匂い  
混ざって……

何も……  
盛ってないって……  
言ったじゃないか……!!



うむ  
確かにそう言った

言質通り  
あのお茶には  
何の細工もしておらぬ

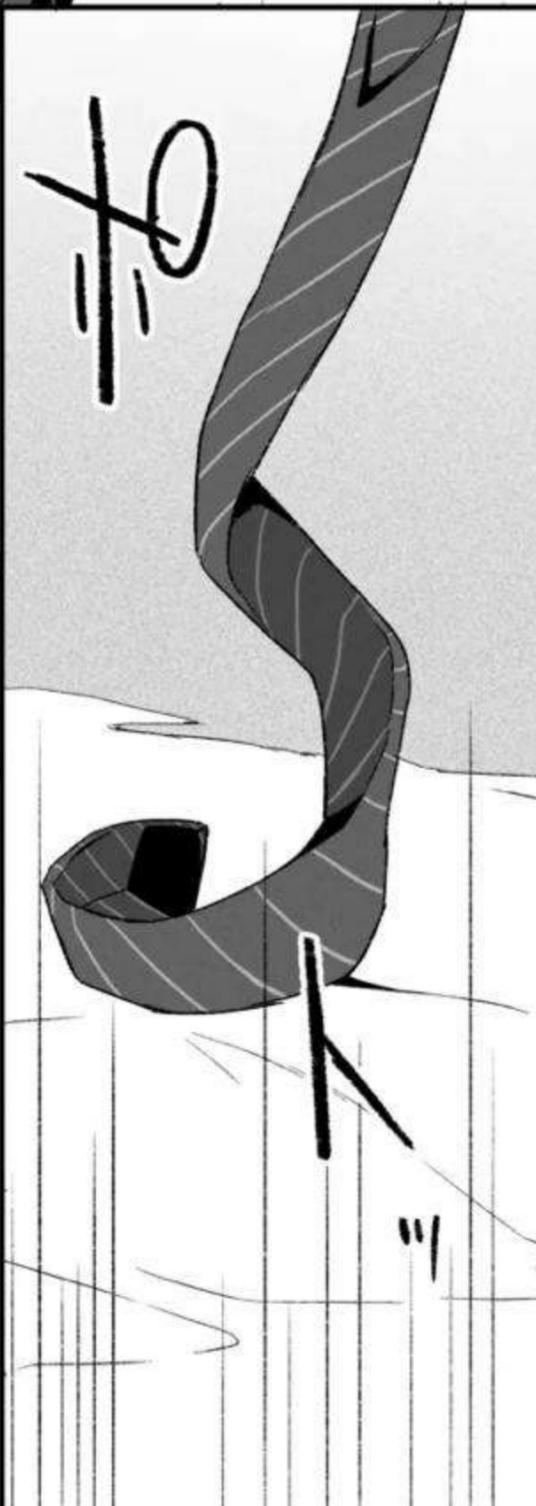
“精力が  
みなぎるお香”じゃ

都合が良すぎる  
かもしれぬが



それは  
妾も同じじゃ♡

はあ





聞こえるかの？  
胸の鼓動が、  
高鳴っているのが

心拍は早まり  
息は乱れ  
脚も震えておる……

すあ

はあ

はあ

はあ

このまま俗世へ  
放り出されては  
無事になぞ帰れぬ……

ちゃんと最後まで  
『面倒』を見て  
くれるかの……？

体調を崩した生徒の  
面倒を見るのが  
教師の務めなら……

そこまでして

お前は望むのか

分かった……

ふふ……







はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



はっ……  
んおっ

お…



はっ

はっ

はっ



反則ッ……

はっ

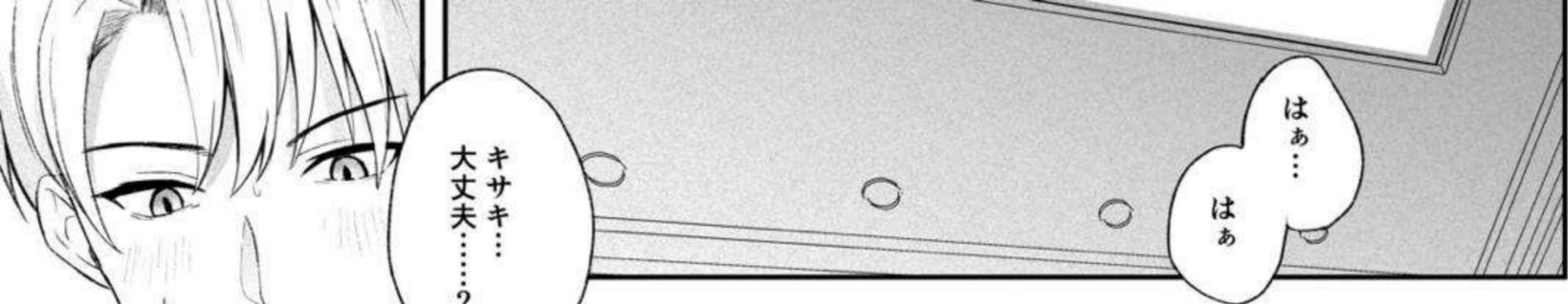


いきなり…は…ッ

あ  
うう

はっ







お怒っておらぬか？



ちよっとさっきは怖かった……

かも



これはお仕置きのつもりだよ



怒ってるよ

だから

ぐっ





あの静かで  
大人びていたキサキが…

こんなに可愛い声で  
乱れている……



せんせえ…  
またイク







はあ

はあ

幾度いけども  
劣情が  
湧き上がって  
来おる……

はあ  
はあ

……あ

バリ

っ……

こんなものを  
我慢しとるとは……

あまりに  
辛くはないか？  
……先生



妻の初めては……  
先生が良い

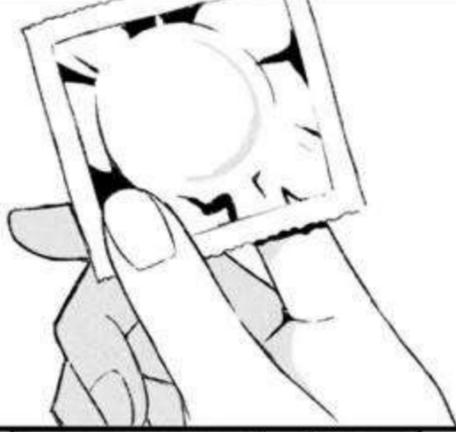
頼む……  
妻は先生と交わる以外で  
満足できそうにない



キサキ……  
これ以上は







そんなものを  
常備しとるのか…?

あ、あんまり  
触れないで……

なにが起<sub>ミ</sub>まか  
分からな<sub>イ</sub>からナ……



ほほぅう

流石  
シャールレの  
先生じゃな

……  
……  
……



……ごめん

はあ

本当に

はあ

それ以上  
言うでない

妾が望んだのじゃ



もう……  
挿れるよ

う……  
くう……

く<sub>ッ</sub>ちゃ<sub>ッ</sub>

く<sub>ッ</sub>ちゃ<sub>ッ</sub>













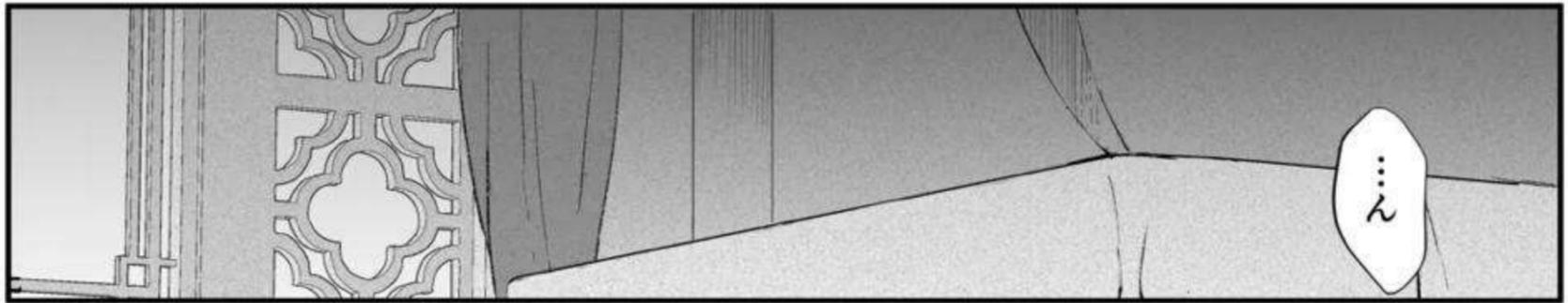


先生……



五感全てで  
今日という日を  
楽しもうぞ





あれから……

妾は幾度も先生に  
迫り情事を求めた

それでも先生は、決して  
自ら妾と繋がることを  
受け入れはしなかった



——できることなら



もう一度  
交わりたい



先生の手で  
妾に踏み込んでほしい

六和閣という  
鳥籠に囚われた  
妾を外の世界へ連れ去るように

先生に手を引かれて  
知らない世界へと  
誘われない

しかし  
先生は妾の求める手を  
振り払った

妾と先生は  
両想いでは  
なかったのか

あの寝床で聞いた  
先生の告白は  
真意ではなかったのか？

せんせえ……

はあ

はあ

はあ

はあ

♡

♡



はあ

はあ



はあ





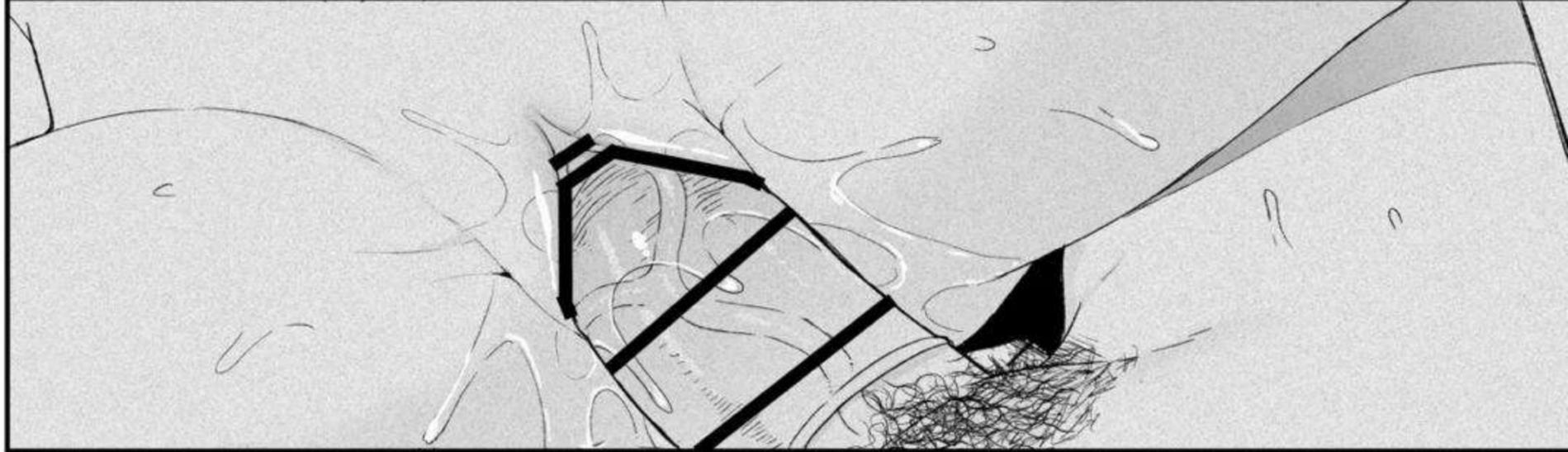
あ…  
れ…



気持ちいいの  
きた…はずなのに

違う…

あの時より  
明らかに…



そ…うか…

届いておらんのか…

先生の手と…  
アレがないと…



はあ〜…



最悪…  
じゃな

びよ  
ん…



どうしたもん  
かの…





ココナちゃんも  
走っちゃ  
いけないですよ

ココナ教官まで……



こら、  
小さい迷子の子！

勝手に走って  
いっちゃいけません！

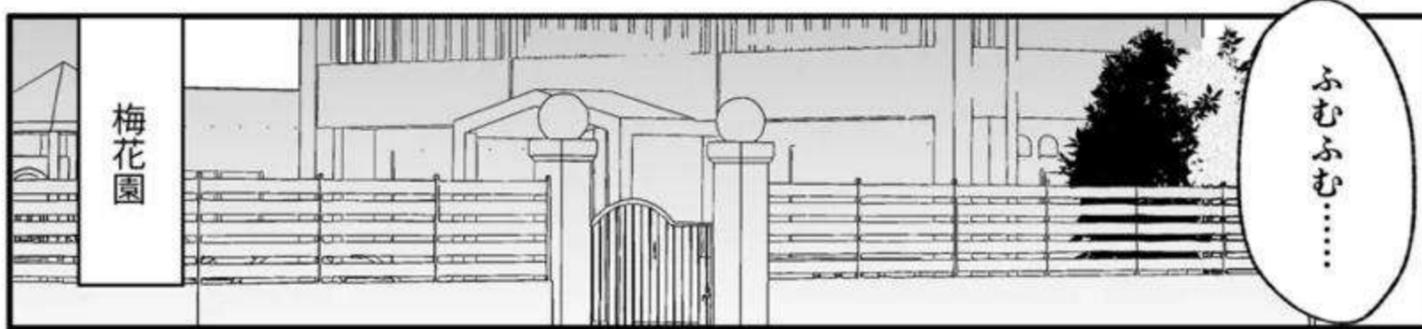


早めに六和閣へ  
戻るつもりが……

私がお姉さん  
なんだから  
ニコニコと  
聞きたい

ニンジンさん  
食べられない  
くせに

面倒なことに  
なったのう……



ふむふむ……



なるほど……  
そんな悩みが……

フフフ

ずばりっ！  
オトナな恋愛の  
クライマックスですわっ！

え、  
え〜と…？

う、うん…？

ここ数日の出来事を  
す〜く〜マイルドに  
『最近見た童話』として  
伝えてみたが…

遠回しにシユン教官の  
見解を聞くつもりが…

思いのほか、  
ココナ教官の方が  
喰いついてきたのう…

2人ともまだ子供だから  
戸惑うかも知れませんが、

私は大人なレディーなので  
すでに経験があるのです！！

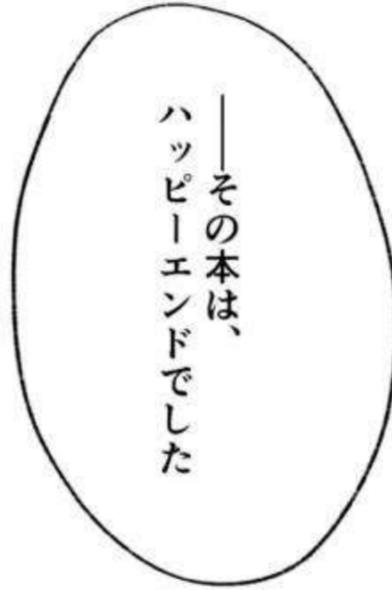
な、なんですと——！！

シユン姉さんが  
読んでくれた絵本に  
そういうのがありました！

ああ…そういうことか



塔の中に幽閉された  
少女は、王子様と  
出会い……



——その本は、  
ハッピーエンドでした



大人はきつと、  
すごく自由なんです！

自分で責任を  
背負えるなら、  
堂々としてればいいんですから！



……  
でも

その責任のせいで  
叶わない恋もあって

それなら、  
子供のまま  
でいいから

一緒に遠くへ  
逃げちゃえたら  
って夢見たり……

どちらの言葉も  
妾にはわかる

……



ふふっ  
愛のとーひこー  
それもロマンチック  
ですねえ

……  
し



……



行動の全てに  
責任が伴う代わりに

その責任さえ  
果たせるなら



大人はむしろ  
子供より自由じゃ



けれど背負う  
責任が他者より  
重い者もいる



まるで鳥籠に  
囚われるいる  
かのように



そんな大人の  
責任を捨て、  
ネバーランド  
どこか遠くへ連れ去りたい

そう願う気持ちも  
妾にはある

先生は……



本当の大人の先生は  
どう思っておるのか……



『先生』は？



ずっとずっと  
好きだったんだ  
キサキのことが

私と違って  
一人で全ての  
信頼にこたえている  
キサキが

私はシャーレの先生なんだ

“ 先生でなければならぬんだ ”



そう……か……



キキちゃん？



答えはとっくに——



…時に教官

えっ……？

はっはい？





囚われの王子を攫う  
少女の物語も

今ドキとは  
思わんかえ？



あっ……  
はいっ!!

用事を思い出した  
すまぬ、  
この礼はいつか



あ、あの、  
口調が…





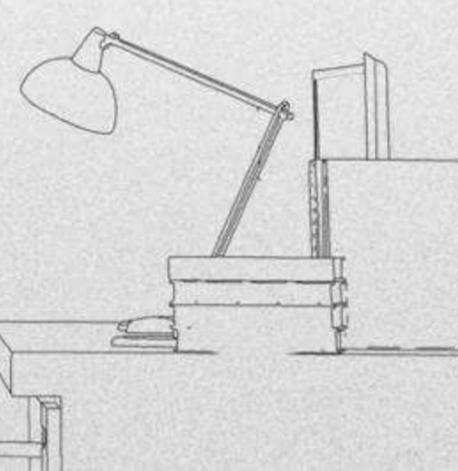
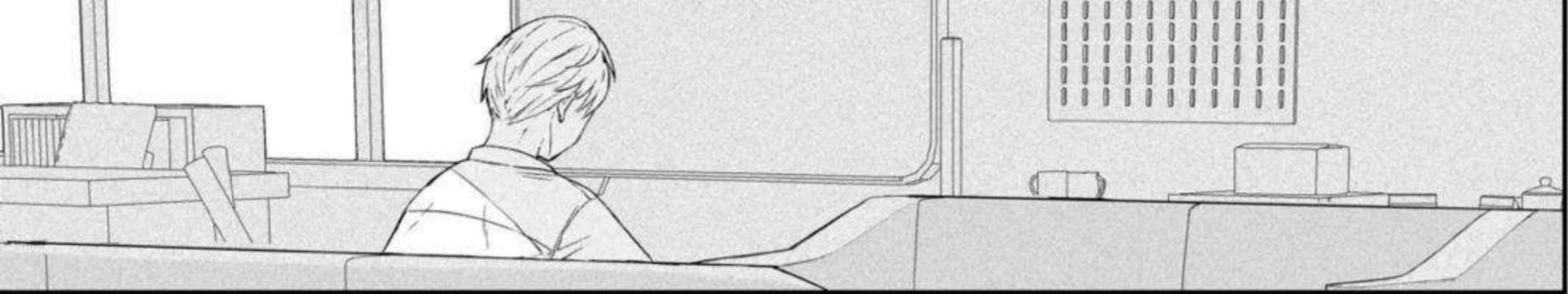
けれど  
先生は……



囚われた  
籠鳥は



妾の方では  
なく――





妾にかかれば  
この程度の鳥籠、  
忍び込むなど  
造作もない

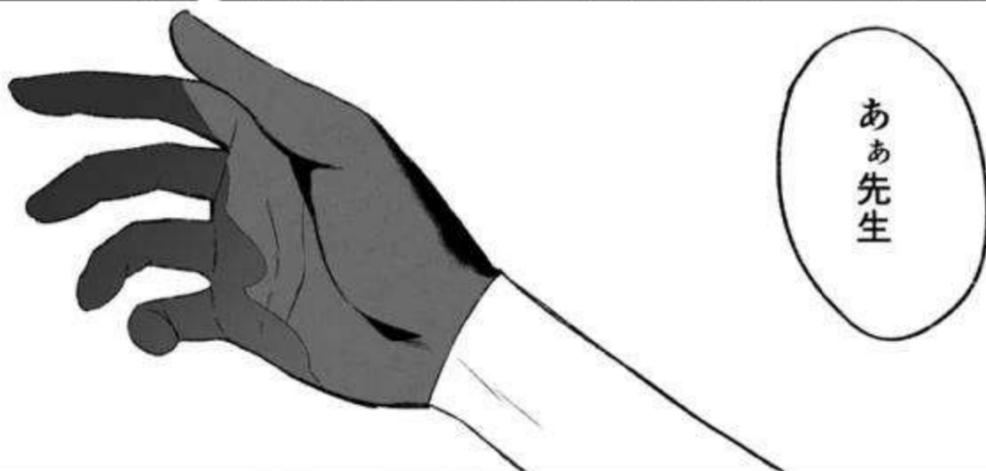


よくシャイレの  
セキュリテイを  
抜けられたね

当番の生徒には  
頼み込んで  
交代してもらった



とり…かご？



ああ先生



さら  
其方を  
攫いに参った









妻の初めてを  
奪ってもらい  
先生に攫われた  
かったのかもしれないぬ

責任という鳥籠から  
抜け出して、  
どこか知らない世界へ  
行きたかったのじゃ



でも先生とて、  
妾と同じく責任に  
縛られた身……

故に妾に『制服』を  
贈ったのじゃろう？

妾を竜華キサキではなく  
生徒として見る為

……そ  
れは



今日はアレを  
着てこなんだ



だから



其方を責任から  
解き放つために



先生の  
生徒ではなく

其方の妃として



そうすれば、  
もう俺は先生では  
いられないよ

先刻承知じゃ

それでも……  
愛して  
くれるのじゃろう？



……当然だろっ

好きなんだから



わたしの  
妾の全てを  
捧げるために……

クキコ  
♡



せんせ……

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

うれしい……

お

ニ

ニ

ニ

ニ

ニ

ニ

ニ

ニ

ニ

ニ



♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

キサキ...ッ

俺も好きだ...

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

せんせつ...  
好きじゃ...♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡



♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

俺も...ずっと  
我慢してた

ずっと...  
ずっとこうしたかった  
...!!

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡













いいなっ……!?

キサキツ……  
なかに射精すぞ……



全く……♡

もう何度も  
だしとるくせに……♡



膣内に  
妾に……

射精して  
くりやれ……♡

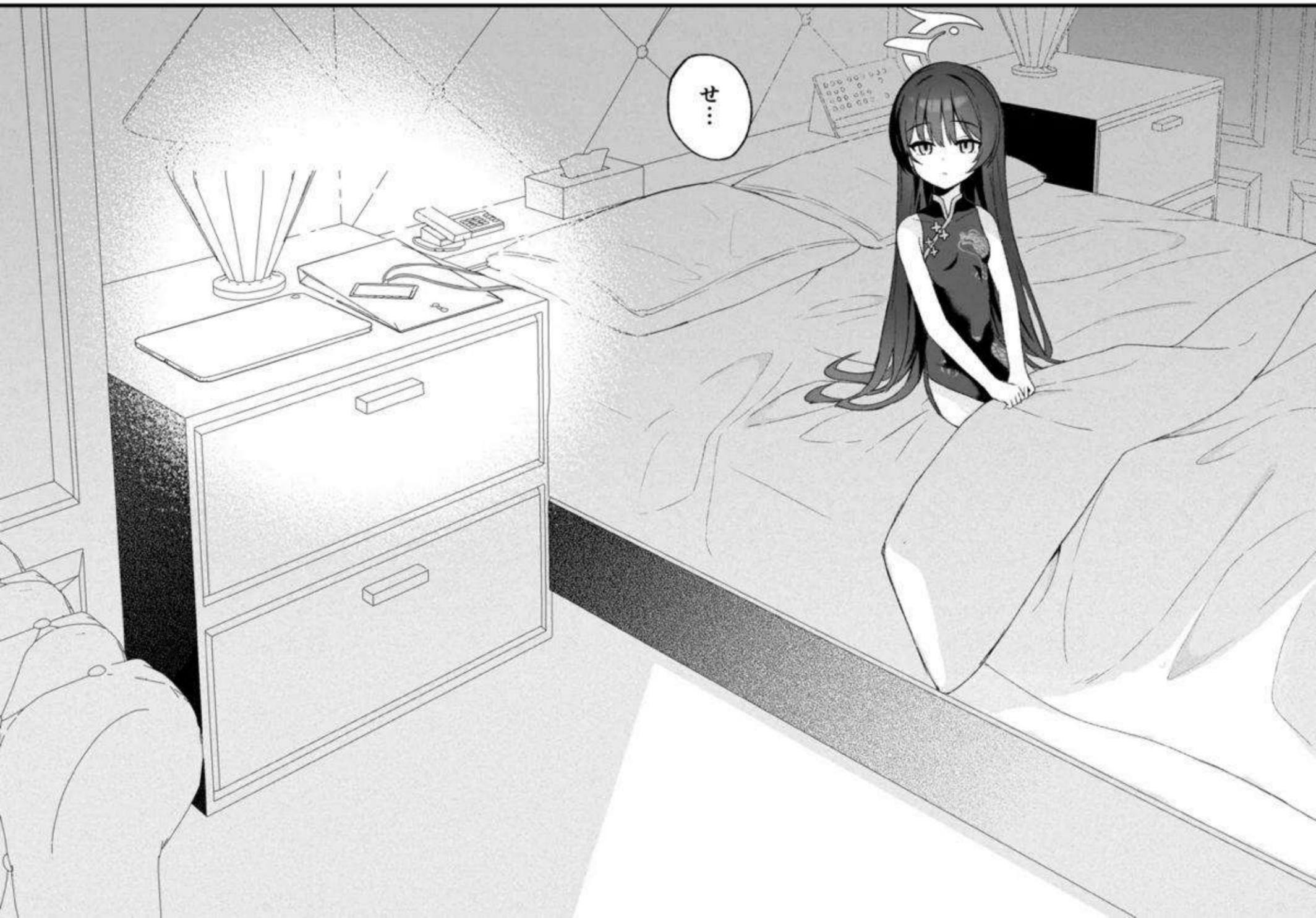
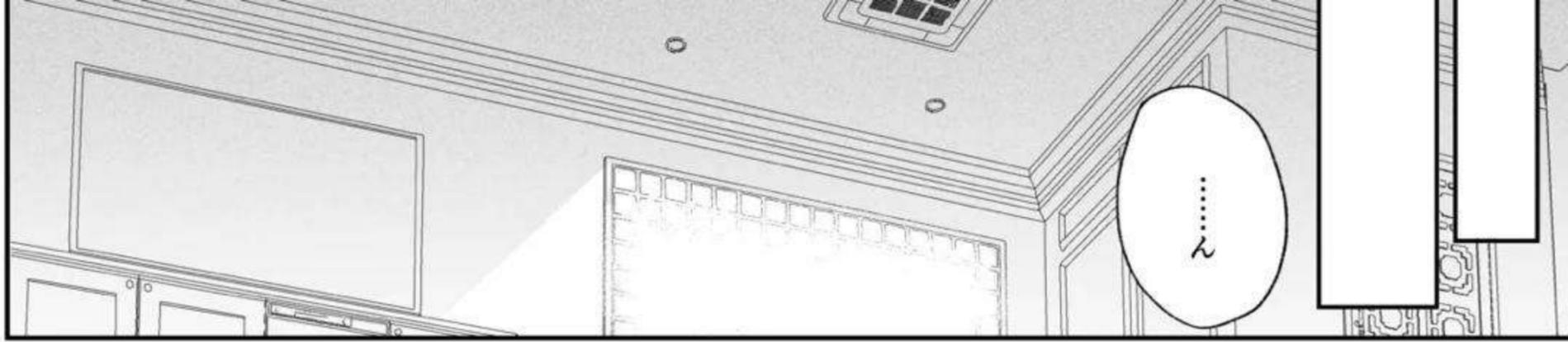
せんせっ……♡



先生



ありがとう——





……バカな

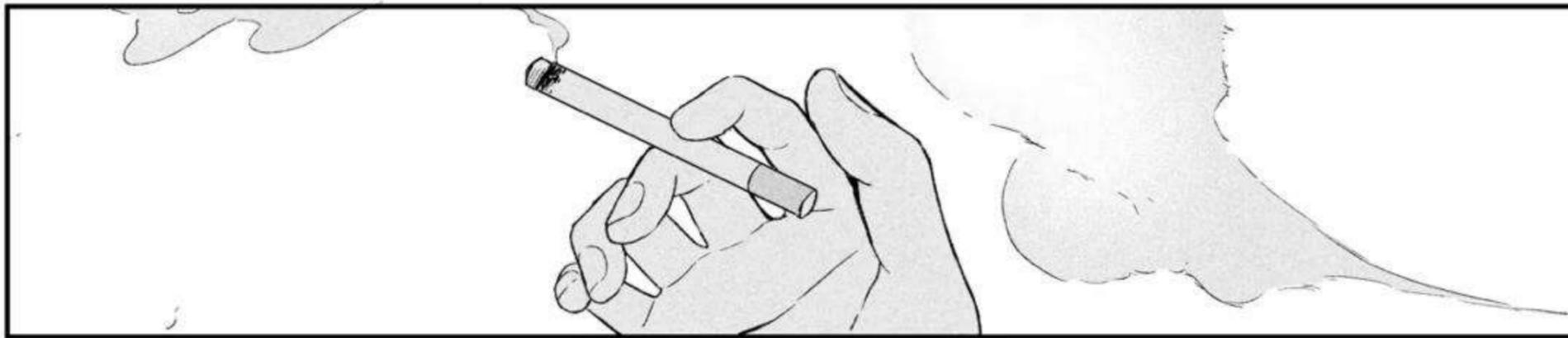
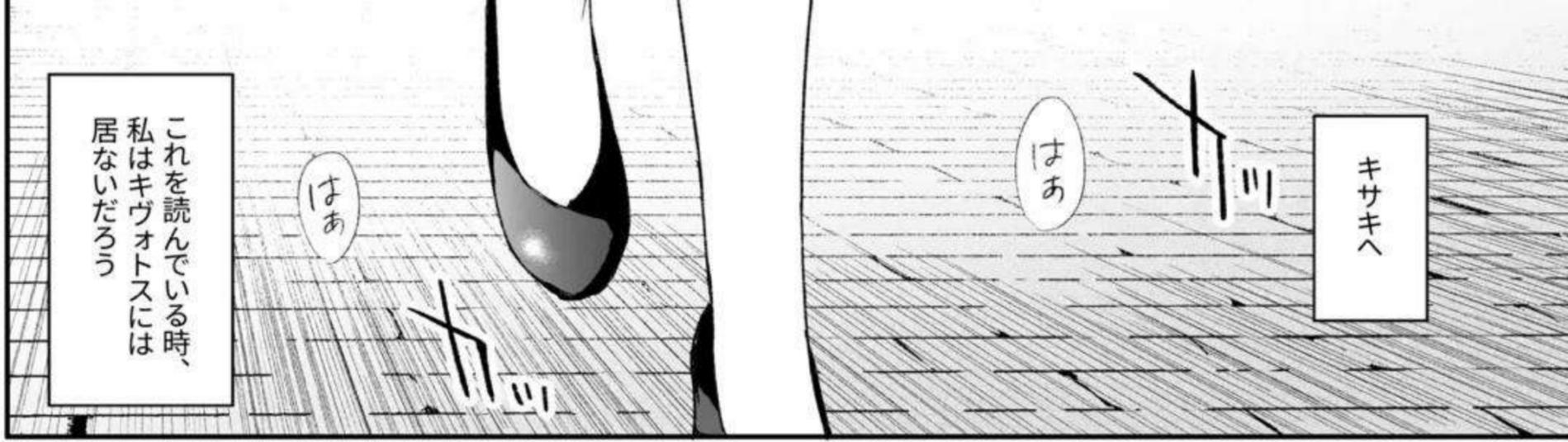
『外』行きの  
電車は日に何度も  
来ない



この脚で  
間に合うか……？  
……いや



間に合ってくれ……!!



もうすぐキサキは  
成人の誕生日を迎える

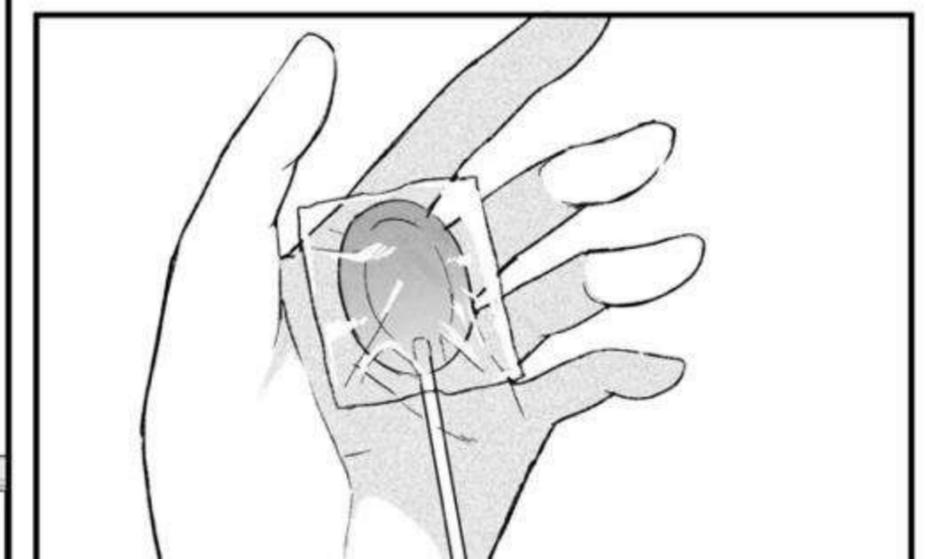
そしてその一月後  
キミは卒業するだろう

大人としての責任も  
先生としての責任も

果たせなかった  
情けない私だけど

卒業したら  
必ずキサキを  
迎えに行く

——しめん



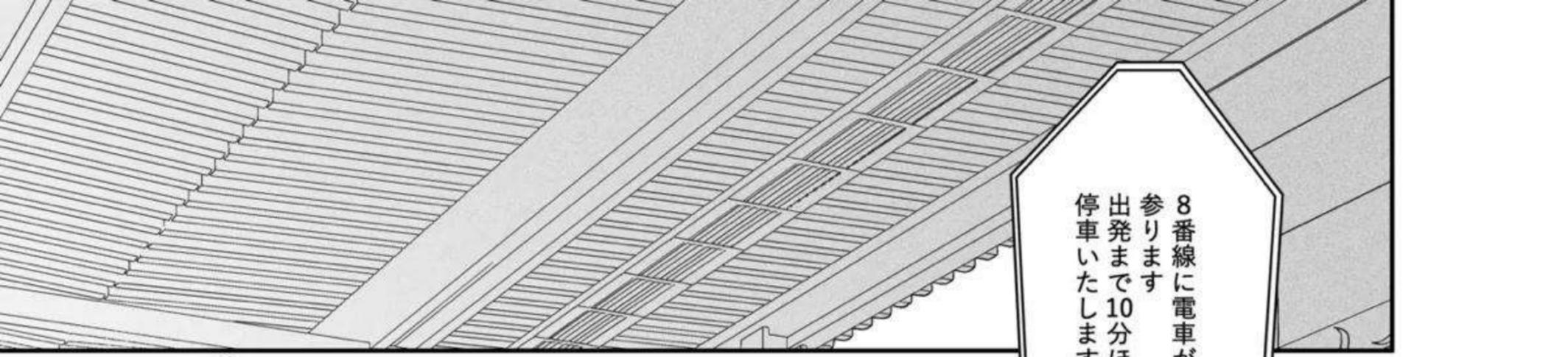
男としての  
責任だけは

果たさなきゃ  
……だよな

あの子と幸せに  
生きるなら……  
捨てなきゃいけない  
ものもある

シャーレの先生として、  
変わらずここで  
一緒になんて

そんなムシの  
いい話はない



8番線に電車が  
参ります  
出発まで10分ほど  
停車いたします



終点はキヴォトス外部と  
なりますため、  
神秘ミステリをお持ちのお客さまは  
いま一度ご確認を――







言ったじゃろう  
其方を攫うと

：私がここに残れば  
どうなるか  
わかってるでしょ

うむ、そうさな

その程度の思慮  
せんはずもない





しかしな、先生？

……妾は  
欲張りなんじゃ



先生と蜜月の時を  
過ごしたい

この街で平穏な  
日々を過ごしたい

どちらも求めるのが、  
竜華キサキという  
生徒であり  
……女なのじゃ

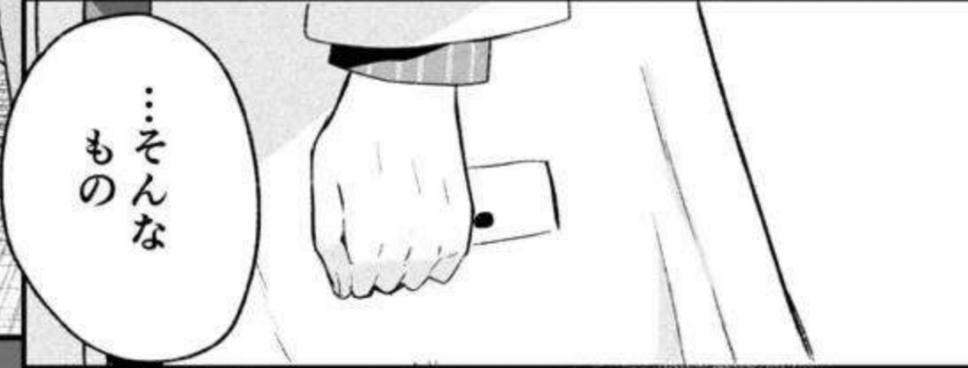
けど……  
それは……



キサキの信頼に  
応えることが  
できない……!!



私じゃあ、  
その責任を  
負いきれない……っ



…そんな  
もの



そんなの  
二人で背負えば  
良い!!



……!!

先生が妾の責任を  
背負おうとするように

先生の背負う責任を、  
妾も共に分かち合いたい

愛し合うとは、  
そういう事では  
ないのかえ？

キサ……キ



先生……

其方は妾を……  
愛してくれて  
おるか？



愛している!!

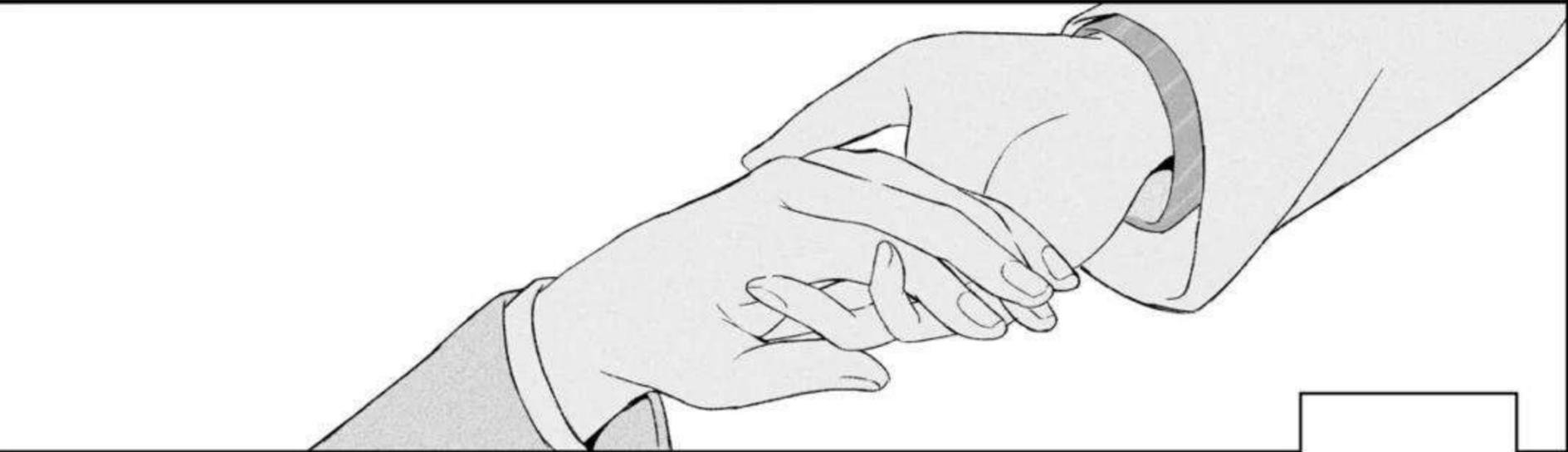
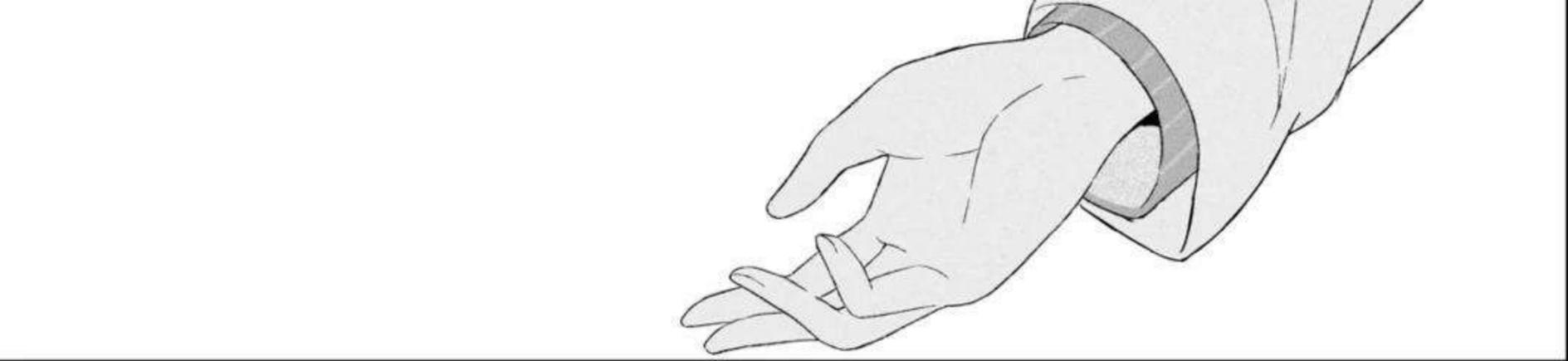
キミの為なら、  
どんな罪だって  
背負える!!



……妾も同じじゃ  
ふふっ

やはり……  
妾達は両想い  
なのじゃな……

情熱的な  
愛の告白……  
しかと聞かせて  
もらうた



空いた手は  
妾が取ろう



満たされぬ心は  
妾が埋めよう

故<sup>ゆえ</sup>に



其方は今のままで  
いいのじゃ



だって……

妾はそんな  
そなた  
先生が……



キサキの手……  
なんだか暖かいね



ふふ



先生の手が  
かじかんでおった  
だけじゃよ



……そっか

さあ帰ろうぞ！

ああ

わたし  
私は

先生と出会えて良かった——



お久しぶり又は初めましてボクです。

さて今回は前々から告知していたキサキ本でした。

シュエリン→ココナと来て次作はなんとなくキサキとは決めていたのですが、ボクことだんぼさんはキャラクターの口調を考えるのがとにかく苦手で、それもあって二次創作は基本的に同人誌では避けている人物です。

しかし、普段からシナリオに口出してもらったりアシスタントをしていただいていたるむにもに君に相談したところシナリオ自体を書いてもらえる運びになり此度のキサキ本を作ることができました！自分1人じゃキサキの話も難しい言葉を使うキサキも描写できることはなかったので凄くありがたいと言いたい。

(それでも4割くらいは自分が考えたし話の再構成、ネームも自分でやったので！)  
前置きが長くなりましたがキサキ本は2人で作り上げたお話になります。

では今回のキサキ本について

今作は過去に「大人と子供」をテーマに原作を捻った内容をチョイスして仕上げた集大成みたいな作品でございます。

キサキの原作シナリオでは山海経である当主の責務や渦巻く政治の話。

また先生との絆ストーリーでは「自由」についての内容でとっても大事に大事に仕上げられたキャラクターであり、濃密なお話でしたね。

奇しくも「責任と自由」という過去にお出ししたテーマと合致して今作の作品が出来上がったわけです。本当に縛られ、苦しんでいるのは先生かもしれない。そんな先生をキサキが連れ去るシンデレラストーリーであり、彼女自身が王子様であったんですね。

そして彼女自身も先生と出会えたことで何か吹っ切れたように、心が晴れるような姿が描けていたらとても嬉しいなって感じます。

ブルアカの生徒会長は一部抱えているものが重すぎるんでこういう創作の話の中でも幸せに描いてあげて良かったって思う次第……。

というかキサキの原作での優遇され具合はなんなんですかね。

2つにも及ぶイベントストーリーにもうこんなスケベじゃんって内容のバレンタインシナリオ。こんなたくさんインパクト残されたら愛せずにはいられないですよ。キサキ好きだ〜〜。

大変長くなりましたがお付き合いいただきありがとうございました。

アホみたいなページ数になってしまいほんますみません。

インモラル系？というか長編みたいなシリーズは今作で一旦終わりにしたいです。

本文126ページも描いているのに実はまだ書きたい内容が残っているのでどこかで公開したいです……。

あとキサキとのエッチもまだ描き足りないっすね。

次作はノゾミ、プラナで本を作りたいです。カノエの本も少し興味が。

それらが完成したらブルアカからオリジナルに戻ろうと思います。

それではまたどこかで会いましょう〜。



舞台をちょうどクリスマス前後を想定して描いていたので先生とキサキがプレゼント交換する話を描きたかったんです……キサキにマフラーを着させてあげたかった!! ページ数もうこれ以上増やせなかった…… どこかで回収させたいのじゃ〜

シナリオ：むにもに(@mu2mo2X)

『ネバーランドにとらわれて』、『静心して梅零れゆく』と続いてきた、九条だんぼによる山海経3部作。

1作目からシナリオ補佐として関わって来ましたが、そのシリーズラストを飾るシナリオを……  
「キサキ女性上位でかつエモいの描きてえ! 頼む!」  
な〜んてノリで任された時は、プレッシャーで痙攣しました。

でも書き始めてみると筆が乗りまくって楽しくなってしまう、指定より多く書き過ぎて九条君を困らせてしまいました。加減しろ莫迦!

だんぼ'sセンスで上手いこと要約してもらっています。ありがとうございます、Foreverだんぼ。次があれば短くまとめます。

前2作を見た方ならより楽しめるようお話を書きました。興味があったら是非、既刊2冊を買って読んであげてください!

せっかくなので提出シナリオ原文も掲載しておきます。見比べてみると面白い……かも?

↑  
(50ページの原稿頼んで  
120ページの原稿渡してきた人)



表紙デザイン/SoUさん(@sou\_wav)  
シナリオ&アシスタント/むにもに(@mu2mo2X)

籠鳥の遠き慮りを溶かして

サークル: DOGYEAR

発行: 九条だんぼ

発行日: 2025/12/30

DL版配信日(予定): 2025/12/31

※本書の18歳未満、高校生の方の閲覧および無断転載・アップロードを禁止いたします。

籠鳥の遠き慮りを溶かして



籠鳥の遠き慮りを溶かして  
BLUE ARCHIVE FAN FICTION STORY  
CHARACTOR: RYUGE KISAKI

*Melting the distant  
worries of the caged bird*